



学校だより

令和2・3年度東京都人権尊重教育推進校

清瀬市立清瀬第三中学校 2月号

〒204-0002 清瀬市旭が丘1-262

学校評価の結果を受けて

副校長 武田雅之

今年度も保護者の方にご協力をいただき学校評価を実施することができました。

学校評価を行う目的は、日頃の教育活動の課題を明確にし組織的・継続的な改善を図っていくことと、その結果の公表・説明により地域や保護者からの理解と参画を得て、学校・家庭・地域との連携協力による開かれた学校づくりを推進することにあります。この目的のとおり、結果を受けて、課題を検討し教職員一丸となって改善に向けて努めていきたいと考えております。

今年度も、携帯電話・スマートフォン等を利用した清瀬市一斉メールによる方法で学校評価アンケートを実施いたしました。保護者の方のアンケート回収率は昨年度の25%より向上し、約40%でした。今後も一斉メールによる学校評価アンケートを継続実施していく予定ですので、学校運営の改善のため回答にご協力いただけると幸いです。

【アンケートの結果を受けて】

全体としては、7割以上の保護者、生徒から、肯定的な評価（①②）を得ました。昨年度の反省をもとに改善が図れた項目では肯定的な評価が増えていました。メールでのアンケートのため回答数が全校生徒の半分以下とやや少なかったことと、コロナの影響で行事や部活動が制限されたため、保護者の方が回答しにくい質問があったこともあり、昨年度より肯定的な評価が減少しているものもありました。

【課題となるもの】

否定的な評価が大きく増加したものは、質問1、11、17、20です。どれも10ポイント程度増加しています。質問1、学校に行くのが楽しいと言っているについては、行事の多くが中止もしくは規模の縮小や公開の中止、また部活動の制限があり生徒の活躍の場がなかったことが考えられます。コロナ禍での学校生活は生徒にとっての楽しみが少なくなっていました。給食や授業での対話やグループワークの場面の再開、そして部活動の再開が望まれます。質問11では、キャリア教育について保護者の否定的な意見が増えていました。今年度も上級学校選択にあたり、私立、公立共にコロナ対策による手続き方法等の変更が多くあり、十分な説明を保護者にできなかったことが考えられます。来年度も手続きの変更が予定されていますので、様々なケースを想定し早期に情報提供ができるように努めます。質問17については、コロナ禍で不安を抱える生徒・保護者が多く、十分な対応ができていなかったと思われます。早期に対応できる体制を作っていきます。質問20については、今年度も職場訪問と職場体験が中止となり、さらにPTA活動や保護者会も十分に実施できませんでした。そのため、保護者や地域の方々との連携が図れていないと感じた方が多くいたと考えられます。来年度は、それぞれの活動を通じて、保護者や地域の方との連携を深め、教育活動で生かす取り組みを進めていきたいと考えています。

今回の学校評価の結果をもとにして、令和4年度の計画を作成します。アンケートの方法についてはメールによる回答を継続します。また、不登校や特別支援教育に関する項目については、どなたでも答えることができる質問に代えて行きます。三中がより良くなるため、生徒・保護者・地域・そして教員、みんなが輝けるように努めますので、今後も学校へのご支援・ご協力、よろしくお願いいたします。

清瀬第三中学校 令和3年度学校評価

		保護者				生徒				教職員			
		①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④
	①そう思う												
	②どちらかというと思う												
	③どちらかというと思わない												
	④そう思わない												
1	生徒は、学校に行くのが楽しいと言っている。	29%	40%	26%	5%	48%	36%	11%	5%	41%	59%	0%	0%
2	生徒は、熱心に授業に取り組んでいる。	30%	51%	16%	3%	34%	53%	9%	5%	24%	53%	24%	0%
3	学校は、生徒にとってわかりやすい授業をすすめている。	13%	63%	23%	2%	32%	54%	11%	3%	29%	59%	12%	0%
4	学校は、予習・復習など家庭学習を含めた学習習慣をつける指導に力を入れている。	7%	51%	35%	6%	18%	32%	33%	16%	29%	47%	24%	0%
5	学級活動(班や係・行事の取組み等)では、生徒が互いに協力して生活している。	37%	57%	5%	2%	61%	33%	4%	2%	53%	41%	6%	0%
6	生徒会活動や委員会活動は活発に行われている。	22%	62%	14%	1%	46%	37%	8%	9%	35%	65%	0%	0%
7	学校行事はさかんで、生徒は積極的に行事に参加している。	27%	50%	21%	2%	51%	35%	8%	6%	41%	59%	0%	0%
8	保健体育の授業での30分間水泳や12分間持久走に、積極的に参加している生徒が多い。	20%	51%	24%	6%	45%	38%	14%	3%	38%	56%	6%	0%
9	学校は、一人一人の生徒のよさや能力を伸ばす教育を行っている。(特別支援教室等を含む)	9%	57%	27%	6%	35%	49%	13%	4%	41%	53%	6%	0%
10	学校は挨拶など基本的な生活習慣についての指導に力を入れている。	18%	59%	20%	3%	49%	43%	8%	1%	29%	59%	12%	0%
11	学校は、必要な情報を提供し、保護者と連携して進路指導、キャリア教育を進めている。	11%	48%	35%	6%	33%	56%	10%	1%	53%	41%	6%	0%
12	学校は、生徒の健康管理に配慮し、心配なく学校生活ができるようにしている。	23%	63%	11%	3%	46%	44%	8%	2%	47%	53%	0%	0%
13	学校は、特別の教科道徳を中心に、他を思いやる心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	15%	67%	15%	3%	53%	41%	5%	1%	35%	65%	0%	0%
14	教職員は、生徒からの相談には、積極的に応じようとしている。	21%	61%	13%	5%	44%	45%	9%	2%	41%	59%	0%	0%
15	学校は、授業や部活動の充実のため、地域の専門家による指導を取り入れている。(1・2年生の剣道の授業の講師、卓球・バドミントン・バスケットボール・吹奏楽の課外部活動指導員の配置)	21%	53%	19%	7%	48%	35%	11%	6%	41%	59%	0%	0%
16	学校の施設は、安全面に配慮されている。	21%	67%	11%	1%	49%	40%	9%	2%	29%	53%	12%	6%
17	学校は、生活面や学習面、不登校等の心配されることがあった場合、家庭との連絡を密におこなっている。	14%	55%	26%	5%					35%	59%	6%	0%
18	学校は、不登校対策に積極的に取り組んでいる。(スクールカウンセラーの活用、ステップルームの運営等)	12%	62%	23%	3%					35%	59%	6%	0%
19	学校は、学校で行われている活動を学校だよりやWebページ、一斉メール等で家庭や地域に伝える努力をしている。	32%	52%	14%	2%					53%	41%	6%	0%
20	学校は、行事等で、保護者や地域の方々との連携を積極的に進め、その力を学校の教育活動に生かそうとしている。	12%	56%	26%	6%					38%	38%	25%	0%

(参考)

清瀬第三中学校 令和2年度学校評価														
		保護者				生徒				教職員				
		①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	
1	生徒は、学校に行くのが楽しい。	25%	52%	14%	8%	43%	40%	8%	9%	50%	50%	0%	0%	
2	生徒は、熱心に授業に取り組んでいる。	30%	44%	24%	3%	27%	56%	12%	4%	23%	73%	5%	0%	
3	学校は、わかりやすい授業をすすめている。	13%	65%	17%	6%	37%	54%	8%	1%	50%	45%	5%	0%	
4	学校は、予習・復習など学習習慣をつけるための指導に力を入れている。	8%	39%	42%	10%	27%	54%	17%	2%	9%	77%	9%	5%	
5	学級の班や係活動、学級会や行事の取り組みなどでは生徒が互いに協力している。	28%	52%	17%	3%	47%	44%	7%	2%	36%	50%	14%	0%	
6	生徒会活動や委員会活動は活発に行われている。	20%	62%	14%	4%	49%	42%	6%	3%	32%	59%	9%	0%	
7	学校行事はさかんで、生徒は積極的に行事に参加している。	17%	39%	31%	11%	35%	46%	13%	6%	27%	45%	18%	9%	
8	部活動はさかんで、積極的に参加している生徒が多い。	21%	56%	18%	4%	53%	38%	8%	1%	32%	64%	5%	0%	
9	学校は、一人一人の生徒のよさや能力を伸ばす教育を行っている。	14%	56%	23%	6%	37%	46%	13%	3%	41%	59%	0%	0%	
10	学校は基本的な生活習慣(あいさつや時間を守る等)について指導を十分行っている。	25%	56%	15%	3%	53%	42%	4%	1%	55%	41%	5%	0%	
11	学校は、必要な進路情報を提供し、保護者と連携して進路指導を進めている。	13%	56%	23%	8%	48%	40%	7%	4%	50%	41%	9%	0%	
12	学校は、生徒の健康管理に配慮し、心配なく学校生活ができるようにしている。	28%	58%	8%	6%	48%	43%	5%	4%	73%	23%	5%	0%	
13	学校は、他を思いやる心や社会のルールを守る態度を積極的に育てようとしている。	20%	65%	14%	0%	46%	48%	3%	3%	36%	59%	5%	0%	
14	先生方は、生徒からの相談には、積極的に応じてくれると思う。	31%	51%	10%	6%	43%	47%	7%	4%	82%	18%	0%	0%	
15	学校は、授業や部活動の充実のため、地域の専門家による指導を取り入れている。	13%	55%	24%	8%	25%	43%	23%	8%	27%	68%	5%	0%	
16	学校の施設は、危険なところはなく、どこも安心して使えている。	21%	59%	15%	3%	43%	46%	7%	4%	14%	36%	36%	14%	
17	学校は、心配されることがあった場合、家庭との連絡を密におこなっている。	24%	52%	15%	6%					64%	36%	0%	0%	
18	学校は、保護者からの相談には積極的に応じている。	31%	52%	10%	6%					59%	41%	0%	0%	
19	学校は、学校で行われている活動を家庭や地域に伝える努力をしている。	24%	55%	15%	4%					27%	68%	5%	0%	
20	学校は、行事や職業体験等で、保護者や地域の方々との連携を積極的に進め、その力を学校の教育活動に生かそうとしている。	23%	54%	18%	4%					36%	55%	9%	0%	

オンライン授業のアンケート結果について

副校長 武田 雅之

一斉メールを活用したオンライン授業に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。集計結果のお知らせと、いただいたご意見に関して、現時点での状況などお答えいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、清瀬市の要請を受けて本校では1月31日から2月18日まで、原則として生徒を登校させずに家庭でオンライン学習を受けさせる取組を実施しました。実施に当たっては様々な課題があり、学校としても試行錯誤の中で進めていきました。

回答数 1年 31 2年 22 3年 24	そう思う			ややそう思う			ややそう 思わない			思わない			わからない (受けていない)		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
ハイブリッド型のオンライン授業はわかりやすいですか。	19%	0%	13%	29%	23%	29%	32%	50%	29%	16%	14%	21%	3%	14%	8%
お子様は集中してハイブリッド型のオンライン授業に取り組んでいますか	29%	5%	25%	39%	36%	38%	10%	41%	13%	19%	9%	17%	3%	9%	8%
今後、ハイブリッド型のオンライン授業をお子様に勧めたいですか。	13%	5%	8%	30%	14%	17%	21%	9%	29%	45%	55%	33%	4%	18%	13%
オンライン授業はわかりやすいですか	16%	0%	21%	32%	55%	38%	39%	41%	33%	13%	0%	8%	0%	5%	0%
お子様は集中してオンライン授業に取り組んでいますか	29%	9%	33%	48%	45%	38%	6%	41%	17%	16%	5%	13%	0%	0%	0%

ハイブリッド型の授業については、対面の授業の様子を GIGA 端末を用いて、Google meet によるライブ配信を行いました。教科担任は通常の授業を行いながら端末の操作を行うため、回線のトラブルや画面の角度・位置・画質についてその場での対応が難しく、授業終了後に改善することになりました。授業の補助に他の教員が入ることができれば対応もできるのですが、人手が足りず対応できませんでした。また、教科によっては、ライブ配信をしてもわかりづらいものもあり、対面で受ける生徒と比べると学習内容の定着には厳しい場面もありました。その結果、今後もハイブリッド型のオンライン授業を勧めたいかについては否定的な回答を多くいただいています。それ以外は学年による差もありますが、おおよそ賛否同程度となっています。

次に記述による意見です。全体としては、取組に対して肯定的・好意的に捉えての内容が多くありました。教員による ICT スキルや指導方法の差やオンラインに向き・不向きな教科など様々なご意見をいただきました。いくつか紹介します。

ハイブリッド型オンライン授業についてのご意見

- ・環境が悪く、やらない本人が悪いと思うのですが、集中して授業に参加していないことが多いです。その時の先生の対応はどこまで把握しながらやっているのでしょうか？画面を見ながらやる授業はとても大変で難しい内容だと思うのですが、興味の出る授業や参加したくなる授業を考えてもらえるといいなと思いました。
- ・黒板の文字が見えない時がある。チャットを禁止されてしまうと、質問したい時に出来ない。(先生によっては質問出来る場合もある)感染拡大防止の面では期間限定に限り仕方ないと思う。
- ・先生の一方通行になりやすい
- ・特別教室での授業や体育の授業が配信出来ないことはあらかじめ説明されていたことでもあるので理解しつつも、なんの指示もなく放置された事で、子供は置き去り感を強く感じたようです。体育は仕方ないにしても、「特別教室にパソコンを持って行けないから出来ない」と言うことに関しても、なぜ持っていけないのか理解できませんでした。オンラインが選択肢としてあるならば、もう少しシミュレーションしていて欲しかったです。

- ・オンライン配信用に録画？しておいたものだと、スッキリして見やすいのですが、対面授業の配信だと、先生の動きで黒板が見えなかったり、画面が黒板からズレていたりで見にくいです。
- ・状況が状況なだけに不満は多々あるのですが授業を受けていると言う緊張感と言うか集中力がオンライン授業になって欠けてきているのは確かだと思います。
- ・画面が見えづらく、ちゃんと書ききれない。進みが早く困惑している様子が伺えるいつ何を提出するのか、聞こえづらい事や分かりづらいので、書面にしてほしい。PDFなどで送ってもらえるとありがたい。
- ・共有で流す映像はラグがあって見づらくて聞きづらい。英語の発音の時に皆がマイクをオンして発音してしまうと授業の音声聞き取りにくい。
- ・画面での授業が目が疲れる、画面に酔うなどしているようです。

通常の授業をライブ配信するハイブリッド型は、教科担当が一人で端末の操作と授業を行うため、オンラインで受けている生徒の声が教員に届きにくい状況がありました。（最大で12クラスが同時配信していました。）また、カメラの位置が固定されているため、授業によってはかなり黒板が見にくかったり、声が聞き取りにくかったりと対面授業の生徒との差が生じてしまいました。あらかじめ想定していた範囲であって、お知らせはしていましたが、対面と同程度を期待していた生徒、保護者もいらしたので、今後も同様のハイブリッド型を行うにあたっては改善する必要があります。端末の操作をする補助員（教員）の配置や配信専用端末（現在は生徒と同じGIGA 端末）の配備、大型TV・カメラ・マイクの購入を順次進めていきます。

オンライン授業についてのご意見

- ・画面が見えづらく、ちゃんと書ききれない。進みが早く困惑している様子が伺える いつ何を提出するのか、聞こえづらい事や分かりづらいので、書面にしてほしい。PDFなどで送ってもらえるとありがたい。
- ・受験生である三年生なので、授業だけでなく、朝や帰りの学活があることで、受験に対しての再確認ができたことは良かったです。
- ・1部の授業でみうけられましたが、予め録画しておいた授業進行の動画をつかうものだと、見やすかったです。ただ、それだけだと、いくらでもサボれてしまうので、間間に先生からの指名や声掛けがあるといいと思います。
- ・授業を動画などにまとめてくれて、それを止めたりしながら配信する先生の授業がわかりやすいと言っていました。
- ・もう少し詳しく授業内容を事前に子供に伝えておいて欲しいです。
- ・ハイブリッド型と同様です。音楽の授業は、今の子どもたちにあっていると思った。他の授業を親も参加する時間があつたら、仕事も休んで、もっと、先生たちが工夫したり行いやすい授業の参考に意見もできるのになあと思っている。特に息子は社会が楽しいから聞いてみてと言ってくれる。親子でも会話が弾む。
- ・マイクやチャットを使い、授業の妨害をしている生徒がいると、大変です。（生徒）オンライン授業の最大の問題は、分からない所をその場で直ぐに質問出来ない事。先生の話のスピードで、理解していないのに進んでしまう。
- ・黒板を見やすくして欲しいとの事です。パソコンの機能を活用した授業をして欲しいです。（音楽の授業はとても興味を持って取り組めたようです。）
- ・資料をモニターに映しながら行う授業は、わかりやすかったが、従来の黒板に書く授業は、集中力が続いてなかった。
- ・長期欠席することになってしまっただけで、もし普通の授業に参加できるのなら、とても有効。不登校の子も授業を受けられる未来が来ると良いなあ。
- ・この状態での学年末テスト、通知表の判定に疑問です。実技については、反映してもらえないのではと不安で仕方ないです。
- ・配布される教材について「プリント（印刷）ができれば便利」だと言われることがあり、そう思うのですが、学校のHPにある文書と違い、クラスルームの文書はプリントの方法がわからないので教えてください。

こちらは、オンライン専用で作成した授業を配信しました。学年単位での配信のため同時に100名程度の生徒が同じ授業を受けました。この方法では、1時間に同時に授業する教員は3

名のため、端末操作の補助に他の教員が入ることができるため、通信トラブルなどは比較的早い対応ができていたと思います。しかし配信専用の授業のため、従来の教材がそのままでは使えない（Chromebook のため Windows のソフトは使えない、動画やスライドなど新たに作成する）など、準備に時間がかかりました。また、生徒との双方向通信については、配信用の端末（生徒用と同じもの）の性能が低く、100 名前後の生徒の顔をカメラで写すとコマ落ちしたり、フリーズしたりと技術的な問題も出てきました。

オンライン授業全般についてのご意見

- ・オンライン授業はやめて欲しい。きちんとできる子はいいが、うちの子はダラダラしてほぼ聞いていません。意味があるのでしょうか？同時に兄弟がオンラインなので、Wi-Fi の環境や音、部屋の問題などストレスがたまります。
- ・感染の観点からオンライン授業はいいと思いますが、登校しない分、早く起きなくていいと思うところが見受けられました。オンライン授業は一人で勉強し、孤独です。生活リズムを乱さないことから、心身の成長期である中学生は緊急事態時以外、オンライン授業はしない方がいいと思いました。
- ・先生が遅れたりして授業が始まらない時があったらしく、戸惑いなどが見受けられたので遅れた時は謝罪をしっかりとしてから授業を始めて頂ければと思います。教育者と言う教える立場の方々なので子供達にも示しがつかないように思います。
- ・貸与しているパソコンを授業以外勝手に使えないようアプリなどでロックかけるなど対策をしてほしい。
- ・黒板が見づらい時がある生徒の様子が見えない事で次に行くのが早い気がする。うちの子みたいに勉強できない子には厳しい。英語？の時あらかじめ撮影していた授業の時は一時停止や巻き戻しができるのでうちの子には良かった。落合先生の授業はわかりやすく声も聞き取りやすく横で聞いていてとても楽しかった。生徒もみんな手をあげていた。カメラをオンにしていない時はスマホを見たりご飯食べたり違うことをしている子がいるらしく緊張感がない。
- ・課題に関して、タブレットを使うのはとてもいいと思います。バラバラになるプリントで貰うよりも管理しやすく、またタブレット 1 台で全科目提出出来るため、紛失、出し忘れが無くなります。ただ、やはり授業に関しては、いくらでもサボれてしまうので、やはり対面がいいと感じました。
- ・先生たちが試行錯誤し行ってくれている姿がわかる。全部の教科でオンライン授業ができれば、良いですね。私立高校や通信制とかオンライン授業をしている塾などの工夫を先生たちも取り入れ、アドバイスをもらおうと良いかもですね。若い世代の先生たちの意見が生かされれば、子どもたちに近い年齢だし、学校も変わるのでは？

技術的な面だけでなく、生徒の健康や安全、生活指導面での課題も見えてきました。今後のオンラインに向けて今回頂いたご意見や問題点を再度検証し、より効果的に学習できる環境改善を進めていきます。

今後の予定

- 3月 1日(火) 都立高校1次・前期発表 ※給食無し
- 3月 4日(金) 避難訓練
- 3月 5日(土) 土曜授業
- 3月 9日(水) 都立高校2次・後期検査
- 3月16日(水) ④卒業式予行
- 3月18日(金) 卒業式
- 3月25日(金) 修了式
- 3月28日(月) 春季休業日始

※今後の状況により、校内の予定は変更になる場合があります。